

## おかあさん、ありがとう

ぼくがおおきなこえではなしをしようとする、「もうちよつとちいさなこえではなしをして。かなちゃんがおきるでしょ。」と、おかあさんにしかられます。

かなちゃんは、ぼくのいもうとです。ことしの三がつにうまれました。おかあさんは、かなちゃんのおせわでいそがしくて、ぼくとほとんどあそんでくれません。

ぼくは、ひとりでいるのがさみしくて、かなちゃんがいるへやへいくと、「はいつてこないで。かなちゃんがねているから。」といわれます。ぼくは、しかたなくりびんぐにもどります。「かなちゃんばかりいいな。」と、ぼくはよくおもいます。

なつやすみ、ぼくがおそくまでおきていると、かなちゃんをねかしたつたおかあさんがぼくのところにやつてきました。そして、おかあさんは、「はるくんがあかちゃんだったころは、よなきでたいへんだつたんだよ。かなちゃんよりもたいへんだつたんだから。なきはじめたら、一じかんぐらいなきやまなくて、もしかしたらびょうきかなとかおもったこともあったんだよ。」とはなしてくれました。ぼくが、そんなによなきをしていたなんてしりませんでした。ぼくが、そんなによなきをたをみて、おかあさんもないていたそうです。あかちゃんの

鹿児島県

日置市立妙円寺小学校一年

田平 遙飛

せわつてとてもたいへんだなとおもいました。

また、「うんちが一しゅうかんもなくてびょういんにいたり、くびがなかなかすわらなくてしんばいしたりもしたんだよ。」と、わらったかおでいきました。おかあさんがそんなにぼくのことをしんばいしてくれていたなんてすこしもしりませんでした。

ぼくは、おかあさんに、「かなちゃんのおむつをかえるのてつだつてもいい。」とききました。おかあさんが、「やつてみるかい。」といったので、おしえてもらいながらやつてみました。おかあさんは、「うまくできたね。ありがとう。」とほめてくれました。うれしかったです。

ぼくは、ぼくがあかちゃんのとくにおかあさんからしてもらったことを、かなちゃんにもしてあげてほしいとおもいます。

これからは、すこしぐらいのことがまんします。また、かなちゃんのほにゅうびんをあらつたり、おむつをかえるのをてつだつたりします。

おかあさん、ぼくたちのためにいつもがんばつてくれてありがとう。